基礎は出来ますか?

「基礎は出来るけど、応用問題になると出来ません。」よく耳にする言葉です。「基礎が重要。」これもよく聞く言葉です。「基礎」という言葉の捉え方の違いが、このような発言の違いになるように思われます。

○基礎は出来ることが多いです。その単元で習った公式をあてはめるとほとんどの問題は解けます。解けるから基礎は出来る。このような考え方です。

このような生徒は、教科書や問題集の基礎問題が解けることと、基礎が出来ることが同義として捉えています。

○基礎が重要

このような生徒は、公式の意味や特徴を意識して問題を解きます。なぜそのような式変形をするのか。この公式を使う目的は何なのか。面倒くさそうな話ですが、ここまで理解できての基礎と捉えています。

「基礎」とは簡単そうで、非常に奥が深いです。これは勉強のみならずスポーツの世界でも言えることです。プロ選手でもなぜシュート練習を何回も繰り返すのか?なぜフォームのチェックをするのか?それはまだ、完成していないからです。一つのことにじっくりと取り組み、完成に近づける。しかし、完成することが一生ないのが「基礎」です。

ということで皆さん、基礎は出来ますか??

(齋藤先生)

成果を出すには

8月26日に「第4回センター試験本番レベル模試」がありました。この夏に取り組んだ学習の成果を出せた生徒もいれば、思うように成果を出せなかった生徒もいるかもしれません。夏休みに詰めて頑張ったからといって、すぐに成果は出ないものです。焦らず結果を受け止め、自分がやるべきことを見極めましょう。

受験生は受験基礎を一通り終えて、基本的には9月から二次試験や私立大学の入試問題を視野に入れた演習をスタートさせたいところです。

しかし、センター試験本番レベル模試の結果が全く目標点に届いていないのなら、センターレベルを早急に仕上げるべきです。センター試験で点数を取ることができないと、志望校に出願することすらできなくなってしまいます。センター試験に向けて、基礎~標準の問題をなるべく早く、ミスをしないで解けるようにしておくことが大切です。もし、まだ勉強が進んでいなくて、得点が低い科目があるなら、いったん一通り修了させることが最優先です。その勉強を進めることで合計点は伸びるでしょう。ただ、一通りの学習が終わったことと問題が解けることは違うので、問題演習をたくさんやることでトコトン鍛えておく必要があります。また、合格目標点までどの分野・ジャンルにどのくらい伸びしろがあるかを見極めて徹底学習することも重要です。

この時期からは模試も多くなります。体力的にも精神的にももきつくなることがあるかもしれません。体力と精神力を安定させるためにも、学習計画はしっかり立てて、規則正しい生活を送り、強い意志を持って取り組みましょう。

(河野先生)

夏休み、どう過ごしましたか

夏休みももう終わりです。今年の夏は、とにかく猛暑が話題となりました。40度超えを記録した地域も多く、一体地球はどうなっているのかと不安にもなります。今年の猛暑はもはや災害だと言われるレベルです。50年後、100年後にはさらに過酷になっていくのでしょうか。100年後には自分はこの世にいないと思いますが、私たちの子孫に対して申し訳ない気持ちにもなります。

さて皆さんは、今年の夏休みは何をしましたか。毎日登校を続けて勉強を頑張った人、オープンキャンパスに参加してモチベーションが上がった人、短期留学によって語学力や価値観を広げた人、部活動でインターハイまで進み全国レベルを体感した人。皆さんそれぞれの夏休みを満喫したと思います。夏休みの過ごし方は近年本当に多様化してきています。以前のように全員が学校の補習と部活動に明け暮れて・・・というものではなくなっています。

この40日間をどのように過ごすかで、成長の度合いはまるで違います。夏休み明けの言動を見ることで、その生徒がどのように夏休み過ごしたのかは結構分かりやすいものです。中には本当に夏休み前のあなたと同一人物なんですか?と思うほどの人間的な成長を見せる人もいます。大切なのは、夏休みが終わってもその努力を続けること。夏休みをあまり有効に使えなかった人は、その反省を今後に活かすことです。その努力を続けて、いつの日か皆さんの中から、この災害とも言える記録的な猛暑にストップをかけられるような人が出てくればとも思います。

(小倉先生)

覚悟

セミの鳴き声がいつしかコオロギやスズムシの声に。振り返れば、この夏の暑さは異常だったね。「体調はどう。」って聞かれたら、「勿論、いつも絶好調です。」って答えられるきみ。暑い暑いと文句を言ったところで涼しくはならないものね。夏は暑くて当たり前。冬は寒くて当たり前。なんでも覚悟すると、いい方向へ道は開けるね。あんなに多かった夏の宿題も、計画どおりに仕上げたね。早く済ませようとすると大変に決まっている。でも、君は達成した。夏の初め、君に尋ねたら「絶対やる!絶対できる!」と覚悟を決めていたよね。最近「先生、暑いとますますやる気になりますね。」ときみの口から自然に出るようになってきたよね。

どんなことでもそうだけど、覚悟すれば何でもできる。できないのは、覚悟せずに逃げ腰になっているからだよね。まわりのせいにしているから愚痴や不満が出るんだね。まわりはそんなに簡単には変わらない。原因はすべて自分にありだね。自分が変わるだけですべてうまくいくし、まわりを変えるよりよっぽど楽だよね。

「どんな状況でも笑顔でいる。」と覚悟すると、失敗したことでさえ笑いに変えられるよね。次は上手くやろうと改善案も浮かぶよね。またまた失敗したら、さらに上の改善案を考えて、どこまで行っても改善して良くなっていくしかないんだよね。人の顔色見ながら振り回されるより、自分のやりたいことを淡々とやり続ける。結果はすべて自分がとると覚悟を決めて進んで行く。2学期も、覚悟決めて、精いっぱいの君になれ!!!

(藤枝先生)

2018年9月の予定

第一ゼミ・四谷大塚

9/1(土) 通常授業　順次スタート
小4生公開組分けテスト(四谷部)
毎週テスト(ゼミ小学部)
2(日) 小5・6生公開組分けテスト(四谷部)
日曜講座(小6附属中・文理中受験対策、小6公立中高一貫校対策)スタート
5(水)~個人懇談(お一人様30分程度です。ご予約ください。)
16(日) 小6生合不合判定テスト(四谷部)
29(土) 小6生月例テスト
(ゼミ小学部:小6公立中高一貫校対策生対象)
30(日) 9月度単元別レベルアップテスト(ゼミ中学部)

東進衛星予備校

9/2(日) 高2生保護者会　10:30~12:00
中3・高1生保護者会　14:00~15:30
3(月) 高2生保護者会　19:00~20:30
5(水) 中3・高1生保護者会　19:00~20:30
23(日) 難関大・有名大本番レベル記述模試

《ブログ・アーカイブから》

四谷大塚NET徳島駅前校
2018.8.17のブログより

お盆休みはどのように過ごしましたか?毎年お盆休みの徳島は阿波踊りと重なり、通常では考えられない程大勢の人が街にあふれます。熱気と「ぞめき」のリズムで風景が陽炎のように揺らいで見えます。今年の夏は特に「危険な暑さ」と呼ばれるほどの異常気象で、外に出るのがためらわれるほどでした。

しかし、その暑さの中、「徳島第一英語村」のソフトオープン体験授業が8月9日からスタートしました。主に徳島第一ゼミの生徒たちが中心の授業でしたが、いつもと違って教えてくれる先生があまり会ったことがない外国の先生です。英語村ビルを見上げながら自動ドアを入る生徒たちはかなり緊張した面持ちでした。中に入ると、何台ものプロジェクターがアメリカの映像を壁いっぱいに映し出し、まさに英語圏に来た感じです。しかも、外国の先生は英語しか話しません。その時点で生徒たちの緊張はピークに達しているようでした。しかし、子どもというのは考えられない程順応性がありますね。最初30分のウォーミングアップで先生たちと触れ合っているうちに笑い声が聞こえ始め、授業が始まる頃には、先生の真似をして英語を話そうとトライしている生徒も出てきました。先生たちがとても優秀な先生であることは間違いありませんが、生徒たちも第一ゼミの頑張る生徒だということを確認出来て先生はとても嬉しくなりました。

(一部編集しました)

これ、なんだろう?

遠目で見たら、分かるかな?

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

※カラーだと見やすいですよ。廊下に張り出してあるものか、HPにアップされているものを見てみましょう。

<前号の答え>
(1) 沖縄県　(2) 埼玉県　(3) 山梨県　(4) 静岡県
(5) 島根県　(6) 奈良県　(7) 富山県　(8) 和歌山県

なぞなぞ未来くん

問1) 筆、鉛筆、チョーク、ペン、いつも一番最初に使いたくなるのは な~んだ?

問2) 「へび=いも」これ な~んだ?

問3) 逆さにすると危ない、飲んだり、うったりするもの なぁに?

問4) た=41　す=33　き=22
では、め=○○　はいくつ?

問5) くつした=1　スカート=2　ハンカチ=0　Tシャツ=0　○に入る数字は な~んだ?

問6) 5円玉1枚と10円玉1枚で さんじゅうえんを作るにはどうしたらいい?

問7) 愛□丘菊　この□に入る漢字な~んだ?

<前号の答え>
(1) 為替(かわせ) (2) 山葵(わさび) (オクラを漢字で書くと「秋葵」だから) (3) カカオ (4) B (A+B　A+A>B+Cより) (5) 119番だから救急 (消防・火事・救助もOK) (6) 最中(モナカ) (7) フォークリフト

言葉の力

NO.170

「THE ANSWER」

「THE ANSWER」と呼ばれる男がいた。
いつでも結果を出し続けた男。
まるで答えを知っているかのように。
その男が言った
「俺を倒せるのは俺だけだ。」
その男が言った
「大切なのは体のサイズじゃない、ハートのサイズだ。」
その男が言った
「いつだって、無理だと言う奴はチャレンジしてない奴だよね。」
その男が言った
「何もないところからここまで来たけど、まだやれることは沢山ある。」
その男が言った
「いつか鏡の前に立って、これが俺の生き様だったと言いたい。」
彼の名前はアレン・アイバーソン
NBA史上最も小さな得点王